日本発信 アニマルウェルフェア

安田勝彦氏（㈱ハイテム社長）が講演

11月1日に京都市の京都女子大学で開催された第13回日本たまご研究会（会長＝松田治男広島大学名誉教授、事務局・㈱ファーマフーズ内）で、安田勝彦氏（㈱ハイテム社長）が「アニマルウェルフェアと採卵養鶏産業」の演題で〝日本発信・アニマルウェルフェア〟を提言した。要旨は次の通り。

第13回日本たまご研究会講演より

一、ドイツ政権与党であったグリーンパーティーがEU幹事国であった時、消費者、生産者、学識経験者との十分な議論がないまま1999年に発令されたEU指令は、産業動物である採卵鶏とペット、野生動物との区分を見失っている面がある。

二、わが国の採卵養鶏産業は、欧米から多くのことを学んできたが、アニマルウェルフェアに関しては、欧米と一線を画し、科学的アプローチに基づく、日本発信の賢いアニマルウェルフェアを確立していく必要があると考えるグリーンパーティーは、消費者、生産者、学識経験者との十分な議論を経て、次の試験方針に基づく産卵生産のスタンダードとすることは、次の諸点から、消費者、生産者いずれにとっても現実的ではないので、産学共同研究の対象としない。

i、その国の人口を可住国土面積で割った『可住面積人口密度（人／平方キロメートル）』は、米国は62（注…米国を1とする）で、英国は154（米国の約3倍）、ドイツは343（同約6倍）、日本は1231（同約20倍）の狭い国土の現実。

ii、欧米に比べ、総じて高温多湿。バクテリアが繁殖しやすく、抗生物質不使用を貫くためにも鶏糞とトリとの分離が望ましい。

iii、欧米に比べて日本は1人当たりの年間鶏卵消費量が多い。2014年のIEC報告（平成20年）度に公示、その後アンケート調査などを踏まえ、今年（28年）度最新版が公示されている「アニマルウェルフェアに関しては、国際的に認知された次の5つの管理指針」（以下『指針』）の妥当性を科学的に裏付ける結果になった。

（編集部注…畜産技術協会の『指針』では、〝アニマルウェルフェア〟を〝快適性に配慮した家畜の飼養管理〟と定義し、設備にも言及している。第1群の結果は、山本研究室の山本朱美准教授が年内に学術論文として発表予定であるが、設備に関しては畜産技術協会が消費者、生産者、学識経験者による2年間の公開審議を経て平成20年度に公示、その後アンケート調査などを踏まえ、今年（28年）度最新版が公示されている「アニマルウェルフェアの考え方」に対応した採卵鶏の飼育管理指針」（以下『指針』）の妥当性を科学的に裏付ける結果になった。

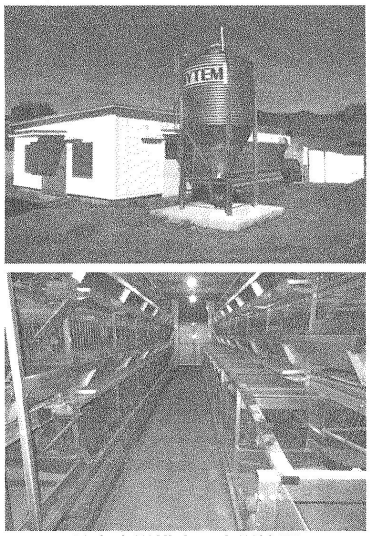
（編集部注…畜産技術協会の『指針』では、〝アニマルウェルフェア〟を〝快適性に配慮した家畜の飼養管理〟と定義し、設備にも言及している。第1群の結果は、山本研究室の山本朱美准教授が年内に学術論文として発表予定であるが、設備に関しては畜産技術協会が消費者、生産者、学識経験者による2年間の公開審議を経て平成20年度に公示、その後アンケート調査などを踏まえ、今年（28年）度最新版が公示されている「アニマルウェルフェアの考え方」に対応した採卵鶏の飼育管理指針」を実践し、設備については前出五項末尾の①②③を順守する。

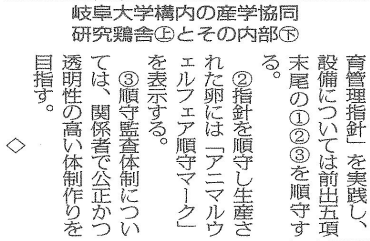
②指針を順守し生産された卵には「アニマルウェルフェア順守マーク」を表示する。

③順守監査体制については、関係者で公正かつ透明性の高い体制作りを目指す。

◇

安田勝彦氏は、高い品質、生産性、消費レベル、タマニコに象徴される消費拡大運動、多様な特殊卵、卵加工製品など、世界に冠たる「たまご王国」の感がある日本の採卵養鶏産業に対するアジア諸国の関心が近年高まっており、日本発信のアニマルウェルフェアが、世界人口の6割を占めるアジアのモデルとなっていく可能性は高いと述べ、講演を締めくくった。





岐阜大学構内の産学協同研究鶏舎㊤とその内部㊦

i、その国の人口を可住国土面積で割った『可住面積人口密度（人／平方キロメートル）』は、米国は62（注…米国を1とする）で、英国は154（米国の約3倍）、ドイツは343（同約6倍）、日本は1231（同約20倍）の狭い国土の現実。

ii、欧米に比べ、総じて高温多湿。バクテリアが繁殖しやすく、抗生物質不使用を貫くためにも鶏糞とトリとの分離が望ましい。

iii、欧米に比べて日本は1人当たりの年間鶏卵消費量が多い。2014年のIEC報告では英国184個（英国を1とする）、ドイツ231個（英国の約1・3倍）、米国261個（同1・4倍）、日本329個（同1・8倍）。

四、同産学共同研究は、今年4月から第2群ルウェルフェアの考え方に認知された次の5つの管理指針」（以下『指針』）の妥当性を科学的に裏付ける結果になった。

（編集部注…畜産技術協会の『指針』では、〝アニマルウェルフェア〟を〝快適性に配慮した家畜の飼養管理〟と定義し、設備にも言及している。第1群の結果は、山本研究室の山本朱美准教授が年内に学術論文として発表予定であるが、設備に関しては畜産技術協会が消費者、生産者、学識経験者による2年間の公開審議を経て平成20年度に公示、その後アンケート調査などを踏まえ、今年（28年）度最新版が公示されている「アニマルウェルフェアの考え方」に対応した採卵鶏の飼育管理指針」を実践し、設備については前出五項末尾の①②③を順守する。

②指針を順守し生産された卵には「アニマルウェルフェア順守マーク」を表示する。

③順守監査体制については、関係者で公正かつ透明性の高い体制作りを目指す。

◇

安田勝彦氏は、高い品質、生産性、消費レベル、タマニコに象徴される消費拡大運動、多様な特殊卵、卵加工製品など、世界に冠たる「たまご王国」の感がある日本の採卵養鶏産業に対するアジア諸国の関心が近年高まっており、日本発信のアニマルウェルフェアが、世界人口の6割を占めるアジアのモデルとなっていく可能性は高いと述べ、講演を締めくくった。

五、アニマルウェルフェアに関しては、国際的に認知された次の5つの管理指針」（以下『指針』）の妥当性を科学的に裏付ける結果になった。

（編集部注…畜産技術協会の『指針』では、〝アニマルウェルフェア〟を〝快適性に配慮した家畜の飼養管理〟と定義し、設備にも言及している。第1群の結果は、山本研究室の山本朱美准教授が年内に学術論文として発表予定であるが、設備に関しては畜産技術協会が消費者、生産者、学識経験者による2年間の公開審議を経て平成20年度に公示、その後アンケート調査などを踏まえ、今年（28年）度最新版が公示されている「アニマルウェルフェアの考え方」に対応した採卵鶏の飼育管理指針」を実践し、設備については前出五項末尾の①②③を順守する。

②指針を順守し生産された卵には「アニマルウェルフェア順守マーク」を表示する。

③順守監査体制については、関係者で公正かつ透明性の高い体制作りを目指す。

◇

安田勝彦氏は、高い品質、生産性、消費レベル、タマニコに象徴される消費拡大運動、多様な特殊卵、卵加工製品など、世界に冠たる「たまご王国」の感がある日本の採卵養鶏産業に対するアジア諸国の関心が近年高まっており、日本発信のアニマルウェルフェアが、世界人口の6割を占めるアジアのモデルとなっていく可能性は高いと述べ、講演を締めくくった。

鶏鳴新聞
2016.11.25